にぎやかそ地方創生便り Vol.47

左から、3 年楠本光太郎さん、2 年濱名泰樹さん、佐藤拳士さん、1 年富田渚紗さん

由岐中学校伊座利分校
災害用懐中電灯「ぽてっとライト」制作
防災意識、地域へ呼びかけ

地震や津波などの災害に備える取り組みが美波町各地で行われていますが、由岐中学校伊座利分校では、振動を感じると自動的に電気の灯る「ぽてっとライト」を制作。生徒 4 名が地域の一軒一軒を回って使い方を説明しながら配り、災害への備えを呼びかけました。制作は4月後半からはじまり、材料となる地域の竹の消毒・成形からスタート。懐中電灯の要となる基盤づくりは、県立阿南光高校の先生に指導してもらいながら、生徒自らの手で制作を進めました。制作総数は合計40個ほどで、その内の約 30 個を地域へ配布したそうです。

一番楽しかった作業は？という問いに、「竹に穴を開ける作業」「バーナーであぶる作業」「基盤づくり！」とそれぞれ感想を述べてくれた生徒たち。いつも家族のように接してくれる地域の方々に喜んでもらえたことが嬉しかったそうで、「日頃から防災については考えていたが、思いを形にして渡すことができてよかった」と話してくれました。

人口が減ってもにぎやかな町・美波町をつくるため、日々頑張る人や団体、取り組みなど、情報提供をお待ちしています！
▶役場政策推進課（77-3616）もしくは▶QR コードの応募フォームからご連絡ください。